

# VERTEX Information

施工事例集

～頭首工(固定堰)の耐摩耗工法～

## ダクトルパネルライニング工法



施工前



施工完了

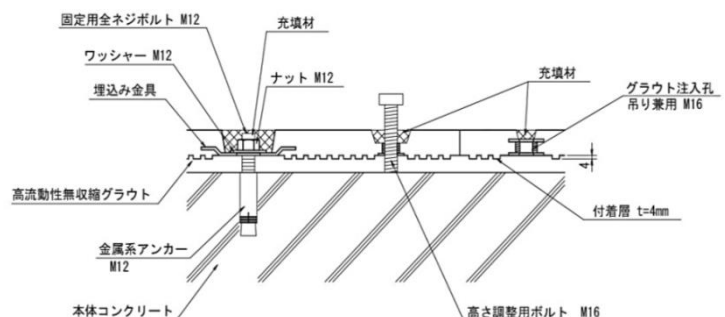
対象構造物	頭首工(固定堰)	劣化・変状	摩耗
目的	摩耗対策	施工時期	平成28年3月
採用工法	ダクトルパネルライニング工法	工法仕様	超高強度繊維補強コンクリートパネル パネル厚:t=30mm グラウト厚:t=20mm～
施工数量	629m <sup>2</sup>		
採用理由	<p>コンクリート造の固定堰は供用の中で徐々に摩耗が進み、堰高の低下や構造物断面の減少、漏水などが発生する。従来、高強度コンクリートを50cm程度打ち換える工法が一般的であったが、耐摩耗性に優れた「ダクトルパネル」を使用することでコンクリートと比べ、長期の耐久性を確保でき、産業廃棄物の削減および排出される二酸化炭素の抑制、工期短縮等が可能で採用された。</p> <p>① 摩耗に対する長期耐久性を確保 ② 工期の短縮 ③ 産業廃棄物および排出二酸化炭素削減</p>		

断面図等

【ダクトルパネル(B:1,500mm×H:1,000mm)】

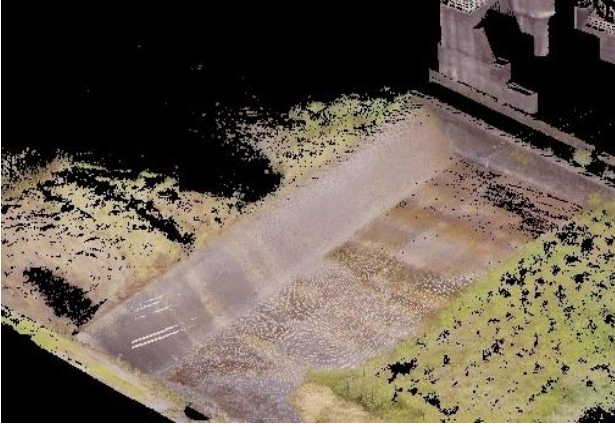


【固定部(金具部)詳細】



施工手順

①



測量(3D測量)

②



高圧洗浄工

③



パネル設置工(高さ調整)

④



アンカー工(削孔)

⑤



パネル設置工(パネル固定)

⑥



無収縮グラウト充填工

⑦



仕上工(シーリング材充填)

⑧



施工完了

